

北鹿の学び舎から

2021-2022

OB、在校生、学校の今 ①①

同窓会で人のつながりを

今回は、秋田職業能力開発短期大学校（以下「短大」という。）の第1期生で情報処理科を卒業し、現在、短大の同窓会会長でもあり株式会社渡敬大館支店に勤務する笹森信仁さんをご紹介します。

笹森さんが勤務する株式会社渡敬は昭和8年に創業し、

文房具雑貨の小売店として設立しました。OA機器や測量機器、ICT関連運用品、文具、オフィスの設計等を取扱っています。笹森さんが勤務している大館支店には当校の卒業生が4人在籍しており、日々頑張っています。

まず初めに、担当されている仕事についてお聞きしました。「私は情報処理科を専攻していたので入社当時はパソコン関係を担当していました。その後、いろいろな仕事をを経験し、今は営業を担当しています。当時は目の前の仕事をこなすことで精一杯でしたが、経験を重ね、少し余裕が持てること仕事の楽しさや魅力がわかってきます。弊社の仕事は多岐にわたりますが、

共通して言えることは、お客様が困っていることを一緒に解決し、お客様と共にその喜びを共有できることが魅力の一つだと思っています。」次に、学生時代について聞

きました。「私は当時、弘前市に住んでおり、五所川原にある青森校も選択肢にありましたが、新しく大館に短大が開校することを知り、入学を決意しました。第1期生ということもあり、先輩もおらず不安もありましたが、自分たちが短大の歴史を作っているという思いが入学を後押ししました。今振り返ると短大での2年間はあっという間で、一番記憶に残っているのは就職活動です。第1期生ということで、短大として

の実績も少なく、バブルもはじけ就職先も多くはありませんでした。就職活動が続き悩んでいる中、担任の先生をはじめ多くの短大職員の方に助

けられて今の株式会社渡敬と出会えました。最終選考前は担任の先生だけでなく、学務援助課の職員の方にも相談したことを今でも覚えています。各料が少人数制なので先生と先生方の距離が近いと感じました。就職活動が続き悩んでいる中、担任の先生をはじめ職員の方との距離が近いのも短大の魅力だと思います。」

秋田職能短大 平成6年3月卒

笹森 信仁さん

株式会社渡敬



プレゼンテーションをする笹森さん



ショールームを兼ねたオフィス

笹森さんは当校の同窓会会長でもあるので、同窓会についてお聞きしました。「私は短大の同窓会会長を約18年務めています。以前は卒業式の後、学生ホールで同窓会の入会式を実施していましたが、ここ数年はコロナ禍のため実施できていません。今の状況が好転した際には入会式での立食会やその他の活動を再開していきたいと思っています。また、役員に若い人がいないので、若い人達とのつながりを同窓会で作りたいと思っています。今年ももうすぐ卒業式の季節です。もう10年以上、同窓会の名前杉風会」

が入った名刺入れを卒業生に贈っていますので、この先も続けていきたいと思っています。そして、学生や卒業生の中で、もう少し同窓会の存在が大きくなるよう頑張りたいと思います。」

最後に笹森さんから短大の後輩に向けてメッセージをいただきました。「社会人になって思うことは、どんな仕事も学生時代に学んだことが基本となっているということです。私は今、営業の仕事をしています。私は今、営業の仕事をしていますが、パソコン関連の商品を取扱う場合は授業で学んだネットワークについての知識が役に立ちます。また、授業での発表経験は社内会議やお客様へのプレゼンテーションの基礎となっています。学生の皆さんは、いろいろなことに興味を持って怖がらずにトライしてください。」

第1期生の卒業生として、また、同窓会会長として当校に深く関わり続けていただいている笹森さんの今後益々のご活躍を期待しています。

秋田職業能力開発短期大学校 学務援助課 小室 良輔